

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立所沢おおぞら特別支援学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	グランドデザインを踏まえ、学校として目指す方向が明確かつ簡潔に示されている。学校の置かれた状況や課題を的確に把握した上で学校像が設定されているが、学校の特色や強みを更に生かしたものとなるようにしていただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、中期的な視点から重点目標が設定されている。学校の置かれた状況などを把握した上で、更に検討・整理して目標の重点化を進め、具体的な目標にすることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	評価運営委員会と分掌・委員会等が連携し、学校自己評価システムが運営されている。評価項目や方策等の見直しを図りながら、本システムが組織的かつ適切に運営されるように更に工夫をしていただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校全体のシートに基づき、分掌が「学校自己評価分掌シート」を作成して組織的に取り組んでおり、よい実践となっている。方策の評価指標が評価項目の達成度を判断する上でやや曖昧なところがあるので、成果指標だけでなく、取組の効果や貢献度などで測れるようにするなど、方策の効果的な実施に向けて一層工夫することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	評価運営委員会や職員会議において、校長が学校の課題等に関する教職員の共通理解を図っている。校長のリーダーシップが的確に発揮され、企画委員会が校務運営の要として適切に機能しており、教職員全体で組織的な取組を展開している。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	年度評価・学校関係者評価などを基に課題を明確にして、次年度の目標・方策に適切に引き継ぎ、解決に向けて組織的に取り組んでいる。学校関係者の意見やアンケート結果等の分析や新たな課題の析出により方策の見直しを検討するなど、次年度のより具体的な取組につなげ、スパイラルアップを図るようにしていただきたい。	
特記事項			